

## 業務用米（多収性品種）の目標収量達成に向けて 穂数確保と根の健全化のため適期に中干しを開始！

### ここがポイント！！

- 1 茎数を確認し、適期に中干しを開始する（早過ぎない）
- 2 茎数が目安に達しない場合でも、遅くとも早生品種は6月15日、晩生品種は6月末までに中干しを開始する
- 3 出穂期1ヶ月前には中干しを終了し、間断かん水に移る

### 1 中干し開始時の茎数の目安

品種名	熟期	中干し開始時の茎数				目標穂数 (本/㎡)
		(本/㎡)	50株植え (本/株)	60株植え (本/株)	70株植え (本/株)	
ゆきん子舞	早生	360	-	20	17	450
つきあかり	早生	400	-	22	19	400
あきだわら	晩生	290	19	16	14	360
(参考) コシヒカリ	中生	280	18	15	-	350

※穂数が確保しやすい「ゆきん子舞」、「あきだわら」は目標穂数の8割、穂数が確保しにくい「つきあかり」は目標穂数の茎数が確保された時点で中干しを開始する。  
※このほかの品種については、普及指導センター又はJAへお問い合わせください。

### 2 これまでの生育状況と今後の管理

- ・ 初期生育は順調で、特に5月6半旬以降は好天が続いており、茎数は順調に増加している。
- ・ 目標収量確保のためには穂数の確保が重要であることから、**茎数を確認の上、適期に中干しに入る。**中干し開始時の**茎数が確保されていない場合でも、根の健全化を図るために、遅くとも早生品種は6月15日、晩生品種は6月末までに、中干しを開始する。**
- ・ 中干し効果の発揮、生育後期の水管理のため、**溝切りは必ず行う。**
- ・ **中干しの程度は田面に小ヒビが入り軽く足跡がつく程度とし、出穂期1ヶ月前までに終了する。**